

《建設環境委員協議会 所管事務調査》

枚方市の公共交通に関する取り組みについて

- 01 | 金沢市への行政視察について
- 02 | 富山市への行政視察について
- 03 | 枚方市の公共交通の取り組み

令和6年11月27日

土木部

01 | 金沢市への行政視察について

令和6年11月12日(火)石川県金沢市

公共交通に関する取組について

1. 金沢市議会の概要(令和6年度)
2. 第3次金沢交通戦略(概要版)



ご感想・ご意見 ※生成AI(ChatGPT)により要約

- 金沢市の交通戦略は参考になるが、都市の特性差が大きく影響を及ぼす。観光リソースの有無が乗車数に直結し、新たなまちづくりの考案が重要であると感じた。
- 「歩いて暮らせるまち」を目指し、公共交通を充実させるが、「ふらっとバス」の費用負担や一般財源への影響度が気になる。
- バス専用レーンの設置など枚方市と道路幅員が違うのであまり参考にならない感じがした。
- 「地域住民による移動手段」は官民連携の一環であり、枚方市ではその交通システム構築が課題となっている。
- 人中心のまちづくりを目指し、パークアンドライドを活用すれば渋滞軽減と環境保護が可能だが、駅前の駐車場数や料金が問題点である。
- 金沢市の交通戦略を学び、パーク&ライドやシェアサイクルの活用、新交通システム整備の重要性を感じましたが、枚方市の環境に適した形を考える必要があると感じています。
- 公共交通事業展開の視察先として有意義で、郊外移動の確保や地域住民への協力依頼など、今後我が市でも検討が必要な課題を確認しました。事業目的の整理や今後の動向に注目します。
- 観光都市とベッドタウンでは課題の解決策が異なる。特に、シェアサイクル等は人口分布による効果差がある。バス待ち環境整備やモビリティ・ハブ、連節バス採用、民間連携等は高齢化時代の枚方市の必要策である。

02 | 富山市への行政視察について

令和6年11月13日(水)富山県富山市

公共交通を軸とした拠点集中型の
コンパクトなまちづくりについて

3. 富山市勢要覧2024《抜粋》

4. 富山市総合交通計画(概要版)



ご感想・ご意見

※生成AI(ChatGPT)により要約

- 富山市を参考に市内の必要な交通を考えるべき。車保有台数全国2位の中、公共交通持続に向けた取組内容が素晴らしく、**車利用者への恩恵が重要との視点が印象的**だった。
- 富山市では駅中心の公共交通と住宅確保でコンパクト都市を実現。どれだけ住民が移転したのか、高齢者向け定期券の費用など、詳細情報が欲しい。
- **LRTは20年前から検討されているが、枚方市では現実的でない**。また、他の駅周辺のまちづくりについても知りたい。
- 既存の路面電車網を使ってLRTとコンパクトシティを展開する事例を学んだ。圏域外に位置する交通手段のない高齢者への対応について知りたい。
- 公共交通を活用したコンパクトなまちづくりは、「富山ライトレール」の整備と駅周辺の居住促進が大切。土地区画整理事業の導入と民間活力が重要である。
- **コンパクトなまちづくりの学習は有益だが、市内電車は本市には不適合**で、道路環境が大きく違う金沢市と同様と感じた。
- コンパクトなまちづくりの先進的な取り組みから気づきを得た。**都心や沿線への居住が進む一方、指定区域外のまちづくりについても更なる検討が必要**と感じた。
- 長年の課題対応が理解され、富山市のLRTは高齢者の交通ニーズを満たすが、枚方市の都市構造も要考慮。

03 | 枚方市の公共交通の取り組み

ご意見

※生成AI(ChatGPT)による要約を基に整理

- 公共交通施策は、中心市街地(自動車動線整理による渋滞解消等)、拠点間移動(長尺バス導入や乗継ぎ環境整備等)、居住エリア(地域自主交通への理解促進)の3つに分けて考えるべき。
- 実情にあった地域運営交通の検討が必要である。
- 市負担も含めた地域交通導入のマニュアル作成やMaaS導入に向けたモビリティハブ整備を推進すべき。
- 公共シェアサイクルの電動アシスト車導入も必要と考える。
- 利用促進としてモビリティマネジメントや乗継料金設定によるバスネットワーク化を図るべき。
- 枚方市でも 官民連携による交通システムの構築を要望するが 運転士不足が大きな壁になっている。
- 交通不便地域対策と地域公共交通の実現には市の努力とチーム組織が必要。
- 公共交通問題は、本市・事業者・地域が役割を明確にし、 サービス向上と環境整備を行う必要がある。
- まずは都市計画マスタープランに基づくまちづくりについて着実に取り組むべき。
- 枚方市駅周辺のまちづくりは地域活性化と都市再生整備計画促進につながる。
- 公共交通のデータ分析による市負担分の検討が必要。
- 運賃助成は福祉だけでなく交通政策の一環とし、枚方も取り組むべき。

1 新たに計画へ反映した内容

2 地域自主運行型コミュニティ交通

3 利用促進と利用環境改善

4 役割分担

5 交通まちづくり

6 公共交通への公金支出

03 | 枚方市の公共交通の取り組み

1 新たに計画へ反映した内容



【施策】都市拠点内の回遊性強化
 (具体的な取組)短距離移動手段の導入
 (実施事業)シェアサイクルの導入

【施策】輸送力の確保(重点施策)
 (具体的な取組)輸送手段の高度化
 (実施事業)輸送力の高い長尺バスや
 連節バスの導入検討



凡例	
都市拠点	○
生活交流軸	—
生活圏域	■
●骨格となる公共交通ネットワーク	●
鉄道	≡≡≡
主要なバス路線	—
●その他のバス路線	●
バス路線	—

【施策】公共交通利用環境の改善
 (具体的な取組)バス待ち等環境の改善
 (実施事業)サイクル・アンド・バスライドの推進



03 | 枚方市の公共交通の取り組み

2 地域自主運行型コミュニティ交通

【現状と課題】

- 本市は充実している公共交通網を維持することを最優先とし、既存公共交通と競合するデマンド型交通ではなく、既存公共交通を補完する地域自主運行型コミュニティ交通の一つである**ボランティア輸送の導入を推進**
- これまで「氷室台地区」「菅原東地区」の2地区でボランティア輸送に対する支援を実施 ※菅原東地区は9月で輸送を終了
- 輸送を担う**運転手の不足**(現状は無報酬)と、利用者も無料であることを理由に**利用控え**が生じている状況

運営主体 輸送手段		市町村		地域	
		市町村による運行	交通事業者による運行委託	地域住民による運行	交通事業者による運行委託
道路運送法	<緑ナンバー> 一般乗合旅客自動車運送事業(法4条許可)	市営交通	乗合事業 ・コミュニティバス※ ・乗合いタクシー※	乗合事業 ・コミュニティバス※ ・乗合いタクシー※	
	<白ナンバー> 自家用有償旅客運送(法78条登録)	交通空白地有償運送 ・コミュニティバス※ ・乗合いタクシー※ ・公共ライドシェア 福祉有償運送 ・介護(福祉)タクシー		交通空白地有償運送 ・コミュニティバス※ ・乗合いタクシー※ ・公共ライドシェア 福祉有償運送(NPO法人等) ・介護(福祉)タクシー	
道路運送法における許可・登録を要さない互助による輸送				ボランティア輸送(共助版ライドシェア)	

赤字:地域自主運行型コミュニティ交通の対象とする輸送 ※事前予約制はデマンド型交通となる

03 | 枚方市の公共交通の取り組み

② 地域自主運行型コミュニティ交通

【今後の対応】

- 地域における高齢者割合が今後増加していく中で、持続可能なボランティア輸送制度とするため、元気な運転手を確保するとともに、気兼ねなく利用できるよう、市の支援内容を充実させる
- 交通不便地域等での水平展開を図るため、ボランティア輸送の名称を共助版ライドシェアへと改めるとともに、導入や運営に関する手引き(ガイドライン)を作成する



03 | 枚方市の公共交通の取り組み

3 利用促進と利用環境改善

【利用促進の取り組み】

- 公共交通の乗り方や、目的地への行き方がわかる「**ひらかた交通タウンマップ**」等を活用し、公共交通利用を働きかけるイベントの実施や、学校・地域・企業等を対象とした出前講座の実施による、利用促進・意識啓発の取り組みを実施
- 今後、**公共交通利用促進のロゴやキャッチコピー**を作成して、市内各地で実施されるイベントポスター等へ記載し、利用促進・意識啓発の取り組みを**強化**

【利用環境改善の取り組み】

- バス停への上屋やベンチを設置してバス待ち環境の改善を実施
- 今後、自転車からバス停へのアクセス性を高めるため、**コンビニや商業施設と連携して「サイクル・アンド・バスライド」**の取り組みを強化



【事例】バス!のってスタンプラリーのチラシ



【事例】田ノ口団地バス停で実施したサイクル・アンド・バスライド

03 | 枚方市の公共交通の取り組み

4

役割分担

※枚方市総合交通計画（素案）から抜粋

理念

ひと・企業・行政 みんながつながり 支え合う交通で 未来のまちをつくる

一人ひとり、またはそれぞれの主体が、多少の不便や負担を分かち合いながら、今ある資源を有効に活用するなど、自分にできることを考え、行動することの大切さを認識し、都市や地域の交通環境を私たち自身で考え、育て、維持していくよう、まちづくりを交通の面からしっかりと支えます。



理念に基づき、各主体が以下に掲げる主な役割について共通認識をもち、お互いに連携しながら施策の推進に取り組む必要があります。

各主体の主な役割

ひと(市民)



- 公共交通は利用者によって支えられていることを認識し、自家用車の過度な利用は控え、公共交通の積極的利用に努めます
- 地域の足の確保(地域・自主運行型コミュニティ交通など)に向け、市民及び地域組織等が主体的に関わるよう努めます
- 公共交通の維持や健康増進、地域活性化などのため、散歩や買い物、イベント参加など、外出する機会を増やすよう努めます
- 移動について自ら考え、環境に優しい乗り物を利用することや健康のために歩く距離を増やすなど、環境や健康に配慮したライフスタイルを実践します
- 公共交通や自動車、自転車などの利用にあたっては、交通ルールやマナーを守り、他の利用者に配慮した行動を心がけます

企業(企業・団体等)



- 利用状況を把握し、市民の意見を十分に聞き、運営に反映させるように努めます
- 公共交通サービスの維持・向上に向け、行政との対話・連携に努めます
- ひと・企業(企業・団体等)・行政に対し、公共交通利用に関する情報の積極的な提供などにより、公共交通の利用促進に努めます

企業(公共交通事業者)



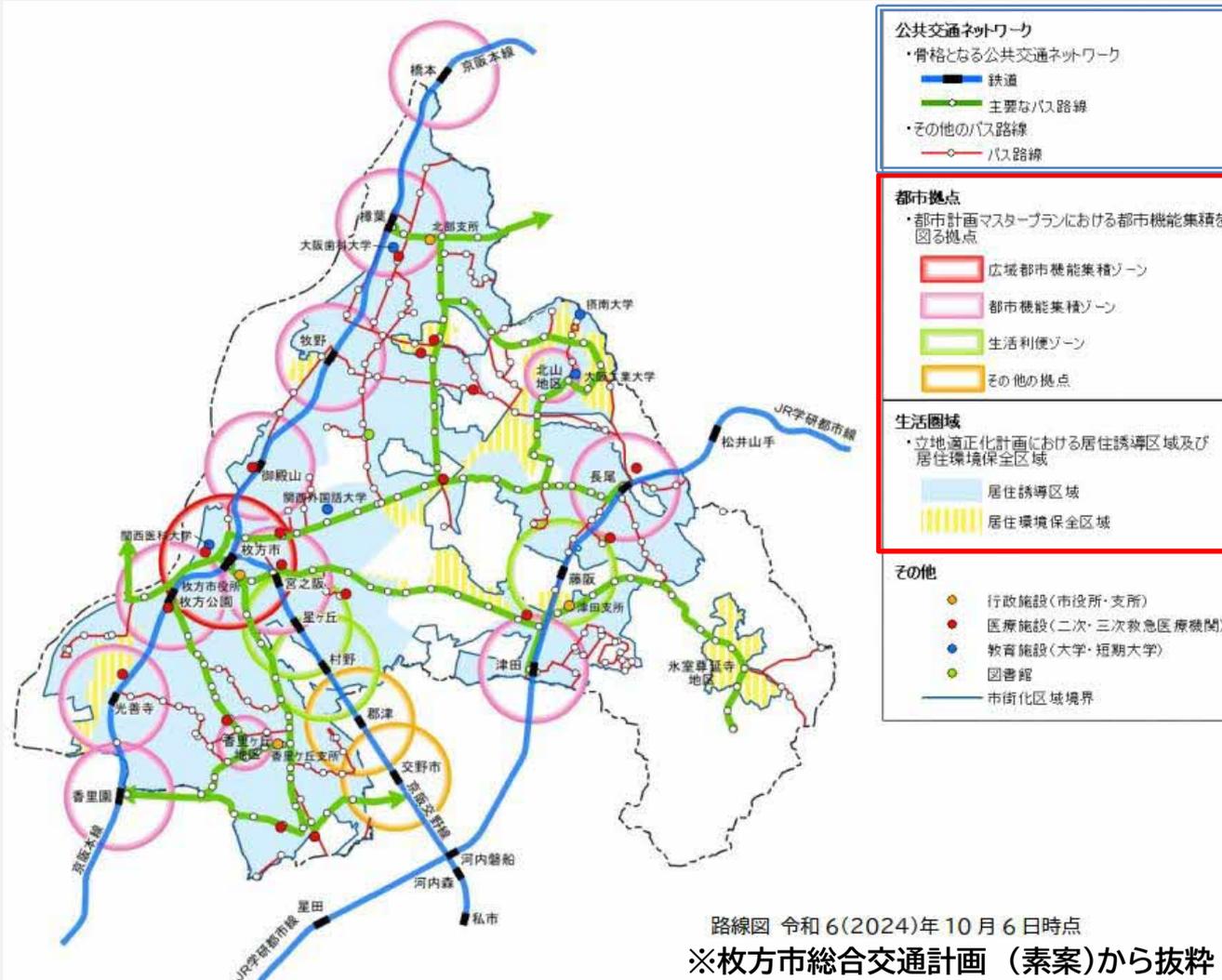
行政



- ひと・企業(企業・団体等、公共交通事業者)と連携を図り、地域公共交通の維持に取り組みます
- 交通の将来像の実現に向け、関係者と連携し、更なる公共交通の利用促進に取り組むなど、ひと・企業(企業・団体等、公共交通事業者)と協力して計画を着実に推進します
- 計画の実現にあたり、ひと・企業(企業・団体等、公共交通事業者)や行政機関相互の協議・調整の場の提供など、適切な進行管理を行います

03 | 枚方市の公共交通の取り組み

5 交通まちづくり



公共交通ネットワーク
 ・骨格となる公共交通ネットワーク

- 鉄道
- 主要なバス路線
- その他のバス路線
- バス路線

都市拠点
 ・都市計画マスタープランにおける都市機能集積を図る拠点

- 広域都市機能集積ゾーン
- 都市機能集積ゾーン
- 生活利便ゾーン
- その他の拠点

生活圏域
 ・立地適正化計画における居住誘導区域及び居住環境保全区域

- 居住誘導区域
- 居住環境保全区域

その他

- 行政施設(市役所・支所)
- 医療施設(二次・三次救急医療機関)
- 教育施設(大学・短期大学)
- 図書館
- 市街化区域境界

このまちづくりの方向等を見据え、**定時性・速達性**に優れた鉄道と運行頻度が高く、都市機能が集積している「都市拠点」などと直結する「**骨格となる公共交通ネットワーク**」の**機能強化**に取り組む



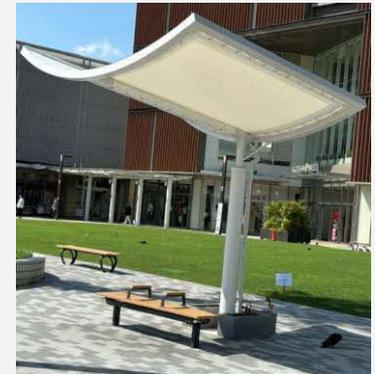
集約型都市構造や**コンパクト・プラス・ネットワーク**の計画的な都市づくりの実現を支える総合的な交通環境を整備

03 | 枚方市の公共交通の取り組み

⑥ 公共交通への公金支出

【交通事業者への支援】

- 京阪バスから赤字補填としての**直接的支援を求められていない状況**
- 現時点では市内を走る路線の多くが黒字路線であり、現在の厳しい状況は**“お金”ではなく“ひと”の問題**が主要因との京阪バスの認識
- これまで京阪バスに対しては、ICカード読み取り機やバスロケーションシステムの導入支援、バス待ち環境改善の取り組み、駅前広場の改良など、利用促進に繋がる**間接的な支援**やコロナ渦における地方創生臨時交付金を活用した**運行支援や燃料費高騰への支援**を実施



【利用者への支援】

- 「ひらかたポイント事業」により取得したポイントは京阪バスポイントやタクシークーポン(65歳以上の方限定)に交換可能
- 杉中学校の一部通学区域内生徒へのバス通学補助金を交付